

## 戦後80年 会設立から20周年 令和7（2025）年の取り組み 「くまもとの戦争遺産を未来につたえる！！」 概要版

### I 趣 旨

令和7年8月は「戦後80年」節目の年であるとともに「昭和100年」でもある。

戦争体験者は年々少なくなり、今の日本は「戦争を知らない世代」が大半を占める。近い将来、戦争体験者はいなくなり、体験者に頼らない「継承の形」を考える時期を迎えている。

本会は、戦後60年の2005年、市民グループ「玉名荒尾の戦争遺跡をつたえるネットワーク」として発足した。当初は玉名市大浜に残された「玉名（大浜）飛行場」と荒尾市中央区等の広域に所在した「東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所（荒尾二造）」の戦争遺跡の残された遺構や遺物の調査、当時証言等の収集を中心に、年二回の例会活動を中心に活動してきた。その後、2014年には、調査・活動が熊本県下及び九州全域に広がっていった実態等から、組織を固めて現「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」と名称を変更した。現在は、戦争遺跡等の調査・研究を進める市民グループとして、戦争遺跡保存全国ネットワークでの九州地域の主要構成団体となり、運営にも携わりながら今に至っている。

その間、各種助成金等を活用し、熊本県内の戦争遺跡や空襲・戦禍の調査をまとめた、県民向けの平和継承リーフレット17冊を刊行した。また、地域の諸学校での平和学習である出前平和講座、職域団体等への平和講演会、学校や職域団体向けの戦時資料貸出キットの展開、県民対象の見学会「戦争遺産を学ぶ旅」を開催し「戦争実相の解明と平和継承の活動」を進めてきた。さらに、『戦後70年 くまもと戦争遺産ガイドマップ』刊行、『戦後75年 平和を祈って くまもとの戦争遺産』刊行支援も行ってきた。

節目の年である「戦後80年」を迎え、これまでの諸資料を戦争の記憶をつたえ、平和を考える貴重な遺産として後世に残すため、以下内容で「くまもとの戦争遺産を未来につたえる」として本事業に取り組む。

なお「玉名市立歴史博物館との両主催事業「戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産～次世代への継承～」展・講演会は、本会からの持ち込み企画である。

概要は次の三項目である。

#### ①項「調査・研究・総合」視点

「玉名市立歴史博物館企画展 戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産～次世代への継承～」、「肥後考古学会特別例会 戦後80年 くまもとの戦争遺跡調査最前線」他

#### ②項「平和継承」視点

「平和継承リーフレット発行 紙の爆弾“伝単”」、旅のよろこび社「くまもと戦争遺産の旅」、熊本県社会福祉課「戦後80年 未来へつなぐ戦争の記憶展」、「たまな地域高校生ピースボランティア」他

#### ③項「教育普及・啓発」視点

「戦時資料貸出キット 第二弾」、「長崎被爆体験証言会と紙芝居」他

### II 主催事業

#### 1 くまもと戦跡ネット 戦時資料貸出キット第二弾「子どもたちの見た戦争」 全86点

□令和6年夏の平和展：第一弾紹介 ※令和6年10月より運用中

子どもたちの見た戦争  
くまもと戦跡ネット戦時資料貸出キット  
第1弾セット

戦時資料貸出キット「子どもたちの見た戦争」は、2016年熊本県での戦時資料レスキュー活動や本会活動に協賛いただいた方々からの提供、九州ろうきん助成事業により収集した戦時資料です。  
テーマごとにパッケージした戦時資料を貸し出します。  
県内中学校での平和学習、職域団体等での平和活動、資料館での展示・学習などに利用できます。  
今回は第1弾5キットで、写真パネルも一部には付きます。

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク  
https://kumamoto-senseki.net/

子どもたちの見た戦争  
くまもと戦跡ネット戦時資料貸出キット  
第2弾セット

戦時資料貸出キット「子どもたちの見た戦争」は、2016年熊本県での戦時資料レスキュー活動や本会活動に協賛いただいた方々からの提供、九州ろうきん助成事業により収集した戦時資料です。  
テーマごとにパッケージした戦時資料を貸し出します。  
県内中学校での平和学習、職域団体等での平和活動、資料館での展示・学習などに利用できます。  
第1弾5キットに続き、第2弾4キットを作成しました。写真パネルも付属します。

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク  
https://kumamoto-senseki.net/

□くまもと戦跡ネット  
戦時資料貸出キット  
「子どもたちが見た戦争」第一弾  
チラシ表面  
□令和7年度  
くまもと戦跡ネット  
戦時資料貸出キット  
「子どもたちが見た戦争」第二弾

- 項目⑥「隣組と国防婦人会」  
戦時中法被、もんぺ、愛国・国防婦人会たすき、記章、愛国婦人会紙製バック、国防婦人会碗、木製回覧板 他
- 項目⑦「空襲に備え！警防団」  
警防団制服・帽子、山鹿監視隊員腕章、隣組メガホン、警報サイレン、アルマイト製鉄かぶと、巻き脚絆、消火弾、砂弾、消火紙袋、簡易戦時消防ポンプ、燈火管制防空電灯カバー、灯火管制電球、各種防空団体たすき、紙製鉄かぶと「報国帽」
- 項目⑧「空襲下の庶民生活と子どもの遊び」  
各種の統制陶器製品、子ども玩具、講談社絵本、キンダーブック、双六 他
- 項目⑨「戦後の復興品 オキュパイドジャパン」  
ジュラルミンヒシヤク、航空鋼板利用ケース、陸軍食器再生品、オキュパイドジャパン玩具・輸出品、三菱食器、再生ランドセル 他

2 くまもと戦跡ネット「長崎被爆体験証言会と紙芝居」  
 ・日本原爆被害者団体協議会の「2024年ノーベル平和賞受賞」を記念して開催

- 8/23 (土) 13時会場、13時半開会
- 講話「ノーベル平和賞の受賞と熊本県被爆協の活動」  
二世部会共同代表 原田俊二さん
- 証言会「私の長崎被爆体験 ～生き抜いた80年～」  
被爆者 浦田藤枝さん (玉名市岱明町)
- 紙芝居上映「長崎原爆被害のお話し」  
紙芝居作成者の越智咲耶子さん 他
- 戦時資料貸出キット第2弾「子どもたちが見た戦争 II」  
紹介
- ワークショップ「平和の紙風船をつくろう」  
北稜高校家政科「たまな地域高校生ピースボランティア」
- 展示：浦田藤枝さん資料、検死調書、浦田さん証言紙芝居、ヒロシマ被爆瓦、玉名から見た、長崎キノコ雲の絵

上小田の三宮神社付近から見た長崎の原子爆弾 (昭和20年8月9日) の原子雲

長崎被爆体験証言会と紙芝居  
浦田藤枝さん証言 「私の長崎被爆体験～生き抜いた80年」

令和7 (2025) 年 8.23 (土) 開場 12:30 開会 13:00

玉名市立歴史博物館こころピア レクチャーホール

【1】開会・日語説明  
【2】講話「ノーベル平和賞の受賞と熊本県被爆協の活動」  
【3】熊本県立「戦時資料再生プロジェクト」  
【4】証言「私の長崎被爆体験～生き抜いた80年」  
【5】紙芝居  
【6】戦時資料貸出キット第2弾「子どもたちが見た戦争II」の紹介

長崎被爆体験証言会 チラシ

3 平和継承リーフレット発行 「紙の爆弾“伝単”」  
 「熊日文化スポーツ基金 令和7年度・前半期助成」の利用、「第22回九州ろうきんNP O助成」9月申請予定による刊行

- 中国軍機による人吉・球磨地方等への投下伝単
- 太平洋戦争末期での熊本市・宇城市・玉名市等への伝単投下 他
- 玉名市・熊本市・宇城市・天草市・菊池市・人吉市への無償提供

4 県民向けの戦争実相を知り、平和を学ぶ「くまもと戦争遺産の旅」

- 旅のよろこび社「第7回くまもと戦争遺産の旅」 ※詳細は、別途
- 第一回 9/21 「玉名飛行場・玉名市博戦後80年展・荒尾二造」コース
- 第二回 10/19 「隈庄飛行場・市立図書館展、松橋空襲・上天草軍人像」コース

紙の爆弾「伝単」  
～昭和十三年日本初空襲と昭和二十年のボツダム宣言～

日中戦争の最中、昭和十三年（1938）年五月二十日三機の中華民国軍機は、日本側の防空体制の隙をつき、川北郡・塚原郡人吉町などにて、「日本本土初空襲」となる紙の爆弾「伝単」を投下した！！

くまもと戦争遺産・文化遺産ネットワーク

戦後80年 第7回  
くまもと戦争遺産の旅  
玉名飛行場と荒尾 遠隈庄飛行場と松橋空襲 軍人像の眼下、ユネスコをめぐる旅

旅のよろこび株式会社 TEL.096-345-0811

くまもと戦争遺産・文化遺産ネットワーク  
平和憲法を学ぶ熊本県民の会

- 平和継承リーフレット「紙の爆弾 伝単」表紙
- 「戦後80年 第7回くまもと戦争遺産の旅」チラシ表紙
- 旅のよろこび宮川様との合同企画

- 5 次世代へ語り継ぐ活動 ※会活動の志向  
 「たまな地域高校生ピースボランティア」組織と活動  
 (1) 7/14(月)午後3時半から浦田さん証言・紙芝居上演  
 と面談・意見交換会  
 (2) 北稜高校生徒有志による浦田さん被爆体験絵本「長崎原爆被害のお話し」の朗読補助  
 (3) 「平和のメッセージ」体験コーナーの補助  
 □平和のメッセージを添えた「平和の紙風船づくり」、作品  
 掲示のメッセージボード作成  
 □戦時紙芝居「ドウブツトナリグミ」の朗読  
 □体験会での「ちいちゃん」服装体験の補助  
 (4) 校内での被爆体験証言会の開催検討  
 (5) 大浜空襲体験者の中嶋征子さん紙芝居「私と大浜空襲(仮)」  
 作製の検討



旧高瀬高女校の正門様子  
 ※現北稜高校

### Ⅲ 両主催事業

#### 1 玉名市立歴史博物館企画展

戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産 ～次世代への継承～

(1) 場所 玉名市立歴史博物館「こころピア」、玉名市民会館ホール棟

(2) 期日 令和7(2025)年7月12日(土)  
 ～9月21日(日)

(3) 「戦後80年 平和祈念講演会」

ア 演題・講演者

「オキユバイド・ジャパン 日本と熊本の占領を見る」  
 早稲田大学社会科学総合学院教授 佐藤洋一 氏

イ 日時 令和7(2025)年8月10日(日)

ウ 場所 玉名市民会館 マルチホール(定員300名)  
 玉名市岩崎88-5 (0968-73-5107)

エ 両主催 玉名市教育委員会(玉名市立歴史博物館)

オ 講話 「進駐軍の見た くまもと」  
 くまもと戦跡ネット 高谷和生



限庄飛行場オキユバイド写真  
 採取される「飛龍」『占領期  
 カラー 写真を読む』より

(4) 本会からの提供の戦時資料 ※初公開の現物資料あり

- ① 全国で唯一「M26照明弾(併用・伝単投下器)」
- ② M69小型焼夷弾、八代市氷川町鏡が池米軍機銃弾
- ③ 紙の爆弾「伝単」米軍資料を中心
- ④ 空襲・警戒警報発令中看板、手旗、訓練用看板、空襲サイレン
- ⑤ 熊本初確認「高田焼統制陶器碗 熊十五」
- ⑥ 九州で唯一「限庄尋常小学校投下の陸軍通信筒と手紙」
- ⑦ 戦時統制「一銭陶貨」
- ⑧ ランドセル各種「竹製・紙圧縮・革製他」
- ⑨ 子どもたちが見た戦争
- ⑩ ユングマン模型機(1/10)
- ⑪ 菊池飛行場特攻隊遺品 短冊三幅
- ⑫ 玉名教育隊関角(もろずみ)区隊長遺品  
 指揮刀(サーベル)・アルバム・軍装品・叙勲表彰 等
- ⑬ 神殿原秘匿飛行場掩体壕 木製部材各種
- ⑭ 高木軍司さん遺品  
 独国ハンザ機木製プロペラ、遺品と砲弾記念品



「たまな・くまもとの戦争遺産  
 展」 チラシ

(5) 本会「米国公文書館所蔵の写真と映像から見た熊本」の紹介

- ① パネル展示 ※米報道発表資料第一・二弾参照 ※初公開  
 □米海兵隊撮影白黒写真202枚からのセレクト  
 □熊日情報ライブラリー所蔵写真の間連写真の展示……有償
- ② 16mm映像2本の上映 ※二映像ともに初公開  
 ※啓発リーフレット『進駐軍が見た熊本』、『同 II』参照  
 □長崎ケーブルメディア所蔵「長崎原爆記録全集内の熊本」映像  
 □昭和館所蔵「熊本の街並み風景 その他」を映像……依頼状  
 □撮影部隊：米海兵隊第2海兵師団ノーマン・ハッチ少佐撮影班

